

議会だより

112号

2015.11



夏まつり盆踊り大会—国際交流留学生8名参加

一般質問 2名が登壇（第3回定例会） ……2～3P

第3回臨時会 **プレミアム商品券追加発行に408万円**

第3回定例会 **道の駅備品購入などに2,402万円** ……4～6P

決議 『非核平和のまち』宣言 議員提案

サハリン州・アニワ市訪問記 ……7P

常任委員会報告 **総務厚生 診療所が行う在宅療養について** ……8～9P
産建文教 土木調査の結果内容

親しまれる広報をめざして……町民5人にインタビュー ……10～11P

スポットライト「国際交流の会」・上川管内町村議会議員研修会 ……12P

答 時代の流れに合わせベビー用品は順次設置していく



早坂純夫 町長

問 子連れでも外出しやすい環境づくりをどう進めるのか



畠山弘美 議員



トイレ内のベビーキープ

乳幼児連れでも安心して外出できる環境として各施設には、広いトイレや授乳室、おむつ交換場所が確保されていることが望ましい。また子どもを育てるうえで家庭における男女共同参画の推進、父親の育児参加を図ることは重要である。

近年整備された建物やトイレ等は設備が整っており評価できる。そこで、役場や町民センター、学校などにも授乳室やおむつ交換の場所が必要だと思う。また、町内公共施設のトイレには乳幼児を座らせておくベビーキープ（椅子）が設置されていない。子育てに配慮した設備をどう整備していくのか。

早坂町長

古い建物には不備があると感じている。子育て環境の整備は時代の流れなので、ベビーキープや授乳室は財政面を考慮しながら少しずつ設置するよう努めたい。住民が役場に来ておむつ交換や授乳が必要なときは役場や町民センターの空きスペースを上手に活用するよう職員に周知する。

畠山議員

すぐに施設改修が無理ならせめてイベント時には積極的におむつ交換や授乳室、託児室などを用意してほしい。

家庭における男女共同参画を考えると絵本の館と健康センターに設置してあるおむつ交換台は女性用トイレの中にしかない。レークサイドと健康センターの公衆浴場のベビーベット設置は女性脱衣場だけである。これでは父子家庭や育児休暇を取った男性はどこでおむつ交換をするのか。入浴するときにはどこに子どもを寝かせるのか。着替えはどこでするのが疑問である。

る。この現状をどう考えるか伺いたい。

早坂町長

おむつ交換台やベビーベットが女性側にしかないと言いき、家庭における男女共同参画ということを考えれば必要な部分だと感じている。これも財政面を考えると一度に全部の整備はできないが、少しずつベビーベット等男女両方に備えていきたいと考えている。



トイレ内おむつ交換台

答 空き家等の活用含めて後期総合計画の中で具体化に向け検討したい

問 道外の人が移住定住の体験ができる住宅の用意はできないか



生出孝男 議員

絵本のりけんぶちに住みたいと思っている人が道外にいますが、冬の生活体験がないことで悩んでいる。半年から1年ぐらいの期間、町が移住定住体験住宅を用意して体験できる移住定住対策は取れないか。

早坂町長

都市から地方への移住希望者が増えていることは認識している。で絵本のりけんぶちの強みを活かして移住定住を図っていききたい。移住定住体験住宅の必要性は強く感じている。新たな施設の建築は研究を要するが、公営住宅や空き家等の活用も含め後期総合計画の中で具体化に向け検討したい。

生出議員

公営住宅への一時入居という点とは無理なので、町内には結構空き家があると思う。その空き家を持ち主から町が借り受けて移住定住の体験住宅として活用することを推進すべきではないか。

早坂町長

空き家は今調査中であり、見つかった場合には持ち主とも話し合いそのような方向で検討したい。今情報収集をしていて町民の方の

知り合いにそういう方がいれば、役場に移住定住の担当部署もあるので積極的に仲介できればと思っている。

生出議員

移住定住体験住宅として空き家を持つということになると、改修費用の負担はどちらが持つか家主との協議にもよるが、そこをはっきりとしなければならぬと思うがどうか。

早坂町長

所有者の意向を尊重しながら、町で取得可能な空き家があれば改修して移住定住のお試し住宅ということでもやりたいと考えている。まずは調査をするのに時間を要する。

外国人観光客の招致に民宿で対応する考えは

生出議員

タイ旅行業者社長から日本の生活が体験できる民宿を提言された。町長も前向きに考えたいと言っていたが今後どのように進めるのか。

早坂町長

タイの観光会社の社長とはその後、何回か話をしている。社長は

剣淵を民宿のできる旅行行程の一つに入れたいとの考えでいる。タイとの関係は連絡を取って前向きに進めたいと考えている。

生出議員

農家での民宿の申請はわりと簡単だとの話だったが、その点あれからどう変わったのか。

早坂町長

申請には課題もあり難しいが、農家だけでなく一般の方でも参加して民宿が開設できるよう方向を探りたい。



冬遊びを体験するタイ旅行団

平成27年
第3回臨時会
8月11日

プレミアム商品券追加発行に408万円

補正予算

○一般会計に435万円を追加しました。
主な内容は道補助金408万円と繰越金27万円を財源として購買促進プレミアム商品券追加発行促進事業補助金408万円と水道施設費繰越金27万円に支出するものです。

可決賛成多数



質疑

古山議員

前は町として事務費の負担があったと思うが、上林町づくり観光課長

今回は事務費も含めての道補助対象となり負担はない。

高橋一博議員

販売にあたり、一世帯当たりもしくは一人当たりなどの制限を設けるのか。前回の4,000セットに比べれば少なく、求める人が多いと思うが。

上林町づくり観光課長

購入制限などについては商工会と相談しているところであり、セット数については商工会より売れ残りへの懸念などがあり、1,500セットとなった次第。

高橋一博議員

利用期間について1月31日までだが、さらなる延長についての制約はあるのか。

上林町づくり観光課長

道補助金ということもあり、2月末までの精算と実施報告書の提出となることから1月末が限度。

畠山議員

前回の販売は早々と完売したが、今回について前回購入できなかった人を優先することはできないか。

上林町づくり観光課長

前回買われてない方を優先することは難しく、制限はしないつもり。

○簡易水道事業特別会計に112万円を追加しました。

主な内容は一般会計繰入金27万円と繰越金85万円を財源として水道管理費の需用費50万円などに支出するものです。

可決賛成多数

平成27年
第3回定例会
9月17日

道の駅備品購入などに2,402万円

条例改正

○個人情報保護条例の一部改正

主な内容は国民全員に個人番号（いわゆるマイナンバー）が付番され、町の保有する特定個人情報について適正な取り扱いを求められることから、「番号利用法」へ対応するために改正するものです。

可決賛成多数



質疑

高橋一博議員

マイナンバーカードにはどのような情報が盛り込まれるのか。

田中住民課長

マイナンバー（個人番号）制度は国民の利便性の向上と行政の効率化と公正・公平な社会の実現をめざして導入される。カードに記録される情報は氏名・住所・生年月日・性別の基本4情報に加えて個人を特定する顔写真と個人番号が記録される。

卯城議員

制度導入で町民のメリットは。

竹内総務課長

利点は本人確認、身分証明に利用でき、各種行政手続きの簡素化やオンライン申請も可能となり、利便性は向上する。

生出議員

今回の改正で従来より情報の保護について厳格化となるのか。「任意代理人」による情報の開示請求とはどのような場合をいうのか。

竹内総務課長

マイナンバー制度の導入により、従来よりもより厳格な個人情報の取り扱いが求められている。成年後見人の法定代理人と同様に任意代理人（本人の委任による）にも請求を認めるものです。

○手数料徴収条例の一部改正

主な内容はマイナンバー制度の導入により、個人番号が通知されることから「通知カード」と「マイナンバーカード」の破損や紛失した場合の再交付手数料を規定するものです。

可決賛成多数

質疑

武山議員

顔写真が表示されることから、カードの更新も必要になると思うが。

田中住民課長

20歳未満の住民は5年毎、20歳以上は10年毎の更新と規定されている。

○町職員の再任用に関する条例の一部改正

主な内容は10月より被用者年金が一元化されることから共済年金が厚生年金に統一されることに伴う改正。

可決賛成多数

○健康診査手数料条例の一部改正

主な内容は内臓脂肪CT検査1回当たり500円として助成診査項目を加えるものです。

可決賛成多数

○北海道市町村職員退職手当組合理約の変更

○北海道市町村総合事務組合理約の変更

○北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約の変更

主な内容は一部事務組合・団体の加入や脱会に伴う規約等の変更です。

一括可決賛成多数

補正予算

○一般会計に2,402万円を追加しました。

主な内容は国庫補助金1,000万と繰越金1,285万円等を財源として道の駅備品購入に699万円、福寿寮給湯管更新工事に509万円、地域交流館「てとて」補助金230万円などに支出するものです。

可決賛成多数



地域交流館「てとて」

質疑

卯城議員

販売にかかるPOSシステムの更新とのことだが、商品陳列改善にも取り組むことで売り上げの増加をどれほど見込むのか。

早坂町長

POSシステムの更新を契機として、納品と在庫の管理を徹底することで一割程度の売り上げの向上につなげたい。

武山議員

国際交流事業で73万円を予算化しているが、交流の新たな進展を考えているのか。

早坂町長

ペルーとの交流についてはキヌアの試験栽培が高校において進められているが、栄養機能食品ということでの販路を考えてみたい。行き来することだけが交流ということではなく、できることから取組んでいきたい。

大澤議員

ネットワークセキュリティ対策業務の106万円には年間の維持や保守点検等の費用を含んでいるのか。商品陳列などの改善指導業務150万円について、指導を受けて販売力を高めるということよりも、実際に道の駅で販売をしている人たちの声を活かしては。

竹内総務課長

サーバー機器一式と設定作業費とで106万円。保守料は含まれず、次年度以降の計上となる。

上林町づくり観光課長

商品の陳列改善指導についてはコンサルへの委託を考えている。運営協議会との協議も必要であり、地元業者の方々とも連絡を取り合って円滑に進めていきたい。

○国民健康保険事業特別会計に106万円を追加しました。

主な内容は繰越金などを財源として精算返戻金86万円を支出するものです。

可決賛成多数

○介護保険事業特別会計に1,199万円を追加しました。

主な内容は国庫補助金49万円、道補助金24万円、一般会計繰入金198万円、繰越金895万円などを財源として精算償還金1,087万円、一般会計繰出金106万円を支出するものです。

可決賛成多数

人 事

○教育委員会委員の任命

次の方の任命について議会の同意を求められましたので同意しました。

高草木 優 氏 東町1468番地 (再任)

報 告

○平成26年度健全化判断比率報告

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
— (15%)	— (20%)	6.8% (25%)	— (350%)

* 実質赤字額・連結実質赤字額・将来負担額、いずれもないことから「—」と表示しています。

* () 内はそれぞれ健全化の基準数値を表示しています。

この続きは右上から

○平成26年度資金不足比率報告

特別会計の名称	資金不足比率%
簡易水道事業特別会計	— (20%)
下水道事業特別会計	— (20%)

* 資金不足額がないことから「—」と表示しています。

* () 内は経営健全化の基準数値を表示しています。

発 議

○議会会議規則の一部改正

主な内容は出席のため、会議に出席できない議員の議長への欠席届の提出を定めたものです。

○閉会中の継続調査の申し出

議会運営委員会

・ 議会の会期日程等議会の運営に関する事項について

総務厚生常任委員会

・ 診療所の入院病棟の活用について
・ 福寿寮の今後のあり方について

○懸案事項の促進及び調査のための議員派遣について

上川管内町村議会議員研修会

派遣先…当麻町 期日…平成27年10月27日

要望意見書

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める要望意見書

決 議

第3回町議会定例会において議員提案により
剣淵町「非核平和のまち」宣言を決議しました。

剣淵町「非核平和のまち」宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いです。

しかしながら、今日なお核兵器の製造、実験が繰り返され、国際情勢も極度に緊張状態であり、核戦争の危機をはらんでいることは誠に憂慮すべきことであります。

剣淵町は、国内はもとより世界の各都市と友好・姉妹都市提携を進め相互の信頼を深め平和への道を歩んでいます。

地球のすべての人びととともに平和を築くよう努力し、非核三原則を守ることを誓い、本議会はここに「非核平和のまち」を宣言します。

平成27年9月17日

剣淵町議会

サハリン州・アニワ市訪問記

平成27年9月7日から11日の5日間、町長と共にサハリン州アニワ市を訪問しました。

8日、一行はユジノサハリンスク市の北海道サハリン事務所を訪れ、サハリン州との経済交流について懇談を行いました。その後、現地バイヤーとの商談打ち合わせ、シティモールや市場で農産物の品質や価格についての調査を行ないました。じゃがいもの価格は日本円にして1キロ約120円とそれほど安価ではないことが実際の視察でわかりました。

9日、剣淵町と友好都市交流に意向をみせているアニワ市を表敬訪問し、今後の交流について意見を交わしました。アニワ地域はアニワ市を中心として、13市町村からなっています。地域全体の人口は約1万9千人、アニワ市のみ人口は1万人弱です。イワショフ・アレクサンドル市長は歓迎の挨拶の中で、アニワは農業生産量においてサハリン州第2位の地域であること、また、気候は非常に剣淵町と似ていることから有益な相互交流の可能性があることなどを述べられました。それに対し私は、作付している作物など剣淵町の農業について詳しく述べ、今後農業を通してアニワ市との交流が発展していくことを望みたいと伝えました。

この日は最後に今村総領事のもとを訪れ夕食会が開催されました。剣淵町から持参したお酒「じんじん」が予想以上に好評で、楽しいひと時を過ごしました。

10日、北海道・サハリン州市民交流会議への出席をしました。ここではすでに姉妹都市提携を結んでいる道内市町村とサハリン側から、交流内容などの報告がありました。また、早坂町長が『サハリンとの新たな交流に向けて』と題して剣淵町をPRしました。

今回の訪問が、お互いの町の発展に向けて、第一歩となったことを報告します。



アニワ市での歓迎の様子



北海道サハリン事務所での懇談



市場での農産物販売

産建文教常任委員会委員長 高橋 一博

総務厚生常任委員会
所管事務調査報告書

診療所が行う在宅療養について

1. 調査日 平成27年8月26日
2. 調査事項 在宅療養について
3. 調査の概要

診療所が行う在宅療養

① 訪問診療と往診

病気や障害があっても、住み慣れた居宅や施設で医療を受けられる制度。医師と看護師が定期的に訪問して診療を行い、必要に応じて薬の院外処方箋を出す。突発的な病状の変化に対応して診療を行う往診も利用できる。

② 訪問診療の対象者

寝たきりの方、通院の困難な方、癌の終末期などで最期を自宅で過ごしたい方など。

③ 診療体制

2週間に1回の診療。月・水・木・金曜日の午後2時からの利用。

④ 訪問診療の実績

月平均の診療実人数は平成25年6人、26年8人、27年7月末で10人。現医師になって増加している。

⑤ 薬剤師の在宅訪問

訪問診療の方が対象で、薬剤師が訪問し服用管理・指導を行う。利用には主治医の指示書が必要。



⑥ 訪問看護の実施

主治医の指示により、看護師などが要介護者などの居宅を訪問し療養の世話や診療の補助を行う。利用には主治医の指示書が必要。

これからの地域支援事業

剣淵町の2025年の高齢化率は47.2%と見込まれる。予防給付は平成29年4月から地域支援事業として町の必須事業となる。

今後は既存のサービスに加え、町独自のサービスが展開され、利用者の範囲も広がること予想される。具体例としては、有償ボランティア制度の充実、見守り支援体制の整備、病院退院後の在宅療養に向けたサポート体制やショートステイの活用などが考えられる。このような医療・介護資源を活用し、誰もが住み慣れた地域で生活を続けられるように、地域として高齢者を支える体制づくりに取り組んでいくことが必要である。

4. 調査の所見

介護保険制度改正により、ひらなみ荘の入所要件は要介護度1以上から3以上となり、今後在宅療養の町民は増加すると予想される。現在、病院退院後の在宅療養に向けた町内サービスは、ひらなみ荘のショートステイ、2床2部屋のみであり、効率的な受け入れとならず、早急に解消しなければならぬ。問題解決に向け、町立診療所の入院病棟をショートステイの場として提供するなど、積極的なサポートをすべきである。

在宅の見守り支援体制は、小地域ネットワークを更に充実させ、今後は有償ボランティア制度を創設し、地域通貨などを発行し対応を期待するところである。今後の事業展開については、社会福祉協議会が主体となり、官民一体で福祉サービスの更なる発展に努めるべきである。また、これからの地域支援事業の一端を担う熱意ある地域おこし協力隊の配置を強く望むところである。

産建文教常任委員会 所管事務調査報告書

1. 調査日 平成27年8月27日
2. 調査事項 土木調査について
3. 調査の所見

今回現地調査の対象となった16件のうち10件を実施可としたところである。調査箇所のおおくは、排水さらいと町道に関する要望であり、町道については整備経過年数による局部破損もあるため、全域の定期的パトロールを今後とも望むものである。しかし、人家も無く、



冬期間除雪をしない道路については、地域住民との対話を大切に、極力最小限の補修で済ますよう努力すべきである。

また、今回の調査箇所の中には確認しづらい所もあり、草刈りなど地先の協力も不可欠と思われる。行政も限られた予算であることから、地域組織の資源保全組合等での対応も必要である。

厳しい行財政であることから最小の予算で最大の効果を上げるよう強く望むものである。



土木調査箇所及び内容

自治	箇所及び要望内容	可否	調査結果
1 緑町	南団地1丁目～2丁目間道路舗装	可	砂利対応として可
2 元町	2線仲通り 道路舗装	不	全面的には距離も長く厳しい
3 元町	2線南11号～鉄道林間 排水さらい	保留	草が生茂り状況判断が不可能
4 元町	南11号穴戸圃場～剣静橋間 排水不良	可	浅くなり排水としての機能を果たしていない
5 旭町	6線神社線～10号間 道路拡幅	不	特別狭い町道ではなくすれ違い可能
6 旭町	6線神社線～南側 排水の土管の床下げ	可	水害の可能性を精査する
7 旭町	7線～佐々木宅前 舗装の凸凹改修	可	穴の箇所が少なく建設課で対応が可能
8 旭町	8線南側 羽田宅前排水 排水の勾配調整	可	測定の必要性あり、可能であれば可とする
9 藤本町	東12線川 床さらい	保留	3と同じ
10 藤本町	10線道道～6号間 道路路肩補修	可	安全面で不安、早急な改善必要
11 西原町	パンケペオッペ川11線より上流 川床埋没改修	可	相当埋まっいて対応必要
12 西原町	11線2号～3号間 側溝埋没改修	可	勾配等一旦調整必要
13 西岡町	10線2号～3号間 舗装補修	可	ある程度は建設課でも補修をしている
14 西岡町	9線3号～5号間 道路舗装	不	必要性、緊急性がなく距離も長く予算も億単位でかかる
15 西岡町	1号6線～7線 トラフ敷設	可	方法の検討が必要
16 西岡町	西剣淵線福川宅付近 排水補修	保留	最低限の補修後、様子を見てから

親しまれる広報をめざして

町民インタビュー

インタビュー 項目

- ① 興味を感じる記事は
- ② 紙面の良い点・改善点
- ③ 町や議会に対する要望

みんなの声がまちづくり

若い人が活躍しやすい環境を作ることに協力してほしい

緑町 岡 千春さん



- ① 一般質問
保育所や学校など子どもに関する記事
- ② とてもわかりやすく、見やすくて良いと思います。
質問と答の字体を変えたり濃淡で変化をつけているので読みやすいです。
- ③ 若い人が活躍しやすい環境を作るのに協力してほしいです。
絵本の館で催し物や展示会を行うときの規制をもう少しゆるくしてほしいです。

町長答弁の「検討します」のその後が知りたい

元町 結城朝光さん



- ① 傍聴に行けないので議会だよりは毎回読む。特に予算関連の記事は真剣に読んでいる。
- ② 全体的に読みやすいので現状で良いと思う。表紙には活躍している若い人たちが写っていてうれしく思う。
- ③ 元町は剣淵町への玄関口なのに、空いている住宅が多く、淋しく感じる。若い人の定住を進めるためにも公営住宅を建て替えると良いと思う。

雇用対策と企業誘致に 力を入れて欲しい

緑町 倉田 加奈子 さん



- ①雇用対策に1番関心があります。
- ②文字も大きく分かりやすく読みやすいです。今のところ改善点は見つからない。
- ③小さな町で難しいとは思いますが、若い人が剣淵で生活できるように雇用対策と企業誘致に力を入れて働く場を増やしてほしいです。

7月から剣淵町民になったので 今後深く読んでいこうと思う

仲町 稲森 友樹 さん



- ①一般質問
特に若い議員の質問に興味を持ち読む。
- ②写真が多く文字も大きいので見やすい。
今のところ改善点は見当たらないが、7月から剣淵町民になったので今後は深く読んでいこうと思っている。
- ③仕事終わりに買い物できる場所が少なく隣町まで行かなければならない。
街灯が少なく自転車や徒歩での通勤に不安がある。

下記の4項目を高校生へインタビューをしました

- ①議会広報を知っていますか
- ②剣淵町をどう思いますか
- ③どういう町だったらいいと思いますか
- ④議員に聞きたいことはありますか

- ①知っています。先生が見せてくれます。
- ②すれ違う時に町の皆さんが挨拶してくれる明るい町、気持ちの良い町だと思います。
- ③小中学生や町の皆さんともっと話したいので多くの人が集える場所やイベントがあれば良いと思う。
去年試食会に参加できたことは貴重な体験だったので継続してほしいです。
- ④剣高生に求めるものは何ですか。
求められるものに少しでも応えていけるように努力したい。



剣淵高校剣友会会長
澤口 桃華 さん

小中学生や、町の皆さんともっと集える場所やイベントを増やしてほしい

ホームステイを通して
楽しく異文化交流



留学生と町長との懇談の様子

剣淵国際交流の会がスタートして今年で32年になります。その間、町内に訪れた留学生の数は200名にも達します。このことは町教育委員会並びに30名の会員の協力は勿論のこと、町民の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝する次第です。

毎年夏に日本に留学している各国の学生を一般家庭で受け入れて約1週間、共に過ごすという事業を行なっています。ふるさと祭りでは盆踊りを楽しんだり、畑仕事

を手伝ったり、料理を作ったりと一緒に過ごすことで互いの文化の理解を深めています。

また冬には日本で暮らしている外国人を講師に招き、その国の料理と一緒に作り、食べることで外国の普通の暮らしを知る、とてもよい機会になっています。

昨今はテレビニュースなどで内戦やテロ、そのことから生じる難民問題、さらには温暖化が原因で起こる台風・豪雨・竜巻などの環境問題、いまや戦争をしている場合ではなく、この先を担う子ども達のために優しい地球をどう残すかを各国のリーダーが真剣に考え取り組むことが緊急の課題です。

このような時代のいまだからこそ人と人との交流が大事です。ホームステイを通じて留学生が家族の一員となって生活を共にし、お互いへの理解を深め、交流を促進し言葉の壁を乗り越えたファミリーになる、このような世界の輪をもっともっと大きくすることで話し合いによる理解しあえる、戦いのない世界ができてくるのではないのでしょうか。

皆さんも是非、留学生のホームステイ受け入れに参加しませんかお待ちしています。

剣淵国際交流の会会長
鈴木 幸男 さん 寄稿

全道町村議会議員研修会



全道町村議会議員研修会の様子

去る10月27日に当麻町において上川管内町村議会議員研修会が開催されました。

東京大学大学院教授の鈴木宜弘氏による「TPP交渉について」と経済ジャーナリストの須田慎一郎氏による「日本経済の課題と展望」についての講演を

拝聴しました。

鈴木氏からは食と農業と暮らしを守る真の闘いはこれからであることや、譲歩に譲歩を重ねた日本の交渉状況を踏まえ、食に安さだけを追求することは、次世代に負担を強いることになる等の指摘を受けました。

須田氏からは「アベノミクス」の現状や「一億総活躍社会」の本当の狙いについての話を聞き、一般的に私たちが考えている景気回復と政府の見解は違い、昔の好景気のイメージは捨て去り、先々を見据えた戦略的な町政運営を行っていかねければ時代の流れについていけないとの指摘を受け皆真剣に聞き入っていました。

議員定数等議会改革 調査特別委員会

議員定数等議会改革について、町民の皆さんの意見を聞く会を開催いたします。

委員長 武山 啓一

日時:12月8日(火)
午後6時

場所:町民センター
1F大集会室